

2011年10月14日作成

～町民の皆さんと一緒につくりあげる 夢と希望のある大槌の復興計画～

現在大槌町では、碓川町長のもと平成23年12月を策定目標とした「大槌町震災復興計画」の作成に取り組んでおります。

この「大槌町震災復興計画」は、津波防災や土地利用に関する計画のみを提示するものではなく、産業、雇用、保健・医療、福祉、教育、環境などの全分野の計画を盛り込む予定としており、大槌町が震災から復旧復興に向けて、力強く歩み出すための未来図となるために作成するものです。また、大槌町の特性や特色を生かした実現可能な計画とする必要があると考えております。そのためには、より多くの町民の皆さんの意見を取り入れ、町民全員で作り上げるものとするのが望ましいと考えております。

そこで町では、町内10地域に「地域復興協議会」を立ち上げ、この協議会を通じて、現状や課題を踏まえた未来像を議論して頂き、復興計画に反映させていくことと致しました。

大槌町地域復興協議会 第1回全体会の内容

●概要

○日時：平成23年10月10日（月）9:30～12:00

○場所：大槌町城山公園体育館

○参加者：約500人

去る10月10日（月）、城山公園体育館に於いて第1回大槌町地域復興協議会全体会を開催致しました。

この全体会は、10月16日（日）から開催予定の各地域復興協議会に先立ち、町の復興計画策定に向けた基本方針や考えを町民の皆さんにお示しし、認識を共有して頂くことを目的に開催致しました。

全体会では、町から大槌町復興計画ロードマップ（策定までのスケジュール）と、大槌町震災復興計画策定に向けた今後の方針を説明致しました。会場には、町民の方々およそ500人にお集まり頂き、様々な意見や要望が出されました。



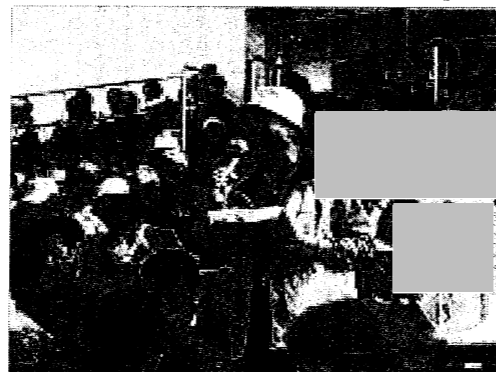
【復興計画の考えを述べる碓川町長】



【大槌町からの復興計画の方針の説明】



【約500人が参加した全体会の様子】



【復興計画について意見を述べる町民の方】

●町民の皆さんから頂いた意見や要望（抜粋）

項目	発言内容
防 災	高い防潮堤であると、住民が安心感を持ってしまい避難が難しくなることも考えられる。避難路を含めた避難のあり方を検討する必要があると思う。
	津波の到来を感知するセンサーやモニタリングが必要である。避難訓練も企業に働きかけて町民が全員必ず参加する仕組みをつくってほしい。
	防潮堤は必要無いという考えもある。海の特性をよく知り、地震が起きた際は津波を予想して避難するべきと考える。
	桜木町は、河川が逆流して河川堤防を越えた地域である。水門改良や堤防嵩上げが必要である。
	海が見渡すことができるようなまちづくりが必要である。
	防災無線が止まって情報を得ることができなかつたので、新しい情報伝達手段を考えてほしい。防災意識、避難について、同じ過ちを繰り返さないための、意識啓発が必要である。堤防を整備しないという考えも含め、100年先を見据えた計画づくりが必要と考える。
土 地 利 用	津波防災に関しては、ハードの整備よりもソフト対策が必要である。津波に対する町民の意識向上を図る必要がある。
	各地域の復興パターンの説明では、盛り土する部分が目立つが、その場合、各地で見られる「液状化現象」についての考慮が必要である。
産 業 ・ 雇 用	ガレキを使った公園整備はできないのか。
	地域産業の振興が必要であると思う。ピンチをチャンスに変えることができるような新しい発想が必要ではないか。既存の産業の復興だけでなく、新たな産業を生み出す必要もある。
教 育	雇用についてだが、緊急雇用対策事業などを活用して、地域の資源を活かしたまち起こしの事業を起業し、将来も続けられるようなものに発展させていくことが必要であると感している。
	小中一貫校については、学区の改変も視野に入れてほしい。
仮設住宅での生活	離れた地域の仮設住宅に移った高齢者の場合、移動手段が無いなど不便な点がある。
環 境 美 化	町の幹線道路などの草取りを地域のみなさんで行いたい。今の生活に潤いを感じることができるような取り組みをもっとすべきである。
復興計画の策定の進め方	震災後、日本から多くのNPOやボランティアが訪れており、その方達の意見を計画に反映させてはどうか。
	住民票は大槌町だが、町外に移り住んでいる人もいる。その方達も地域復興協議会に参加できるようにしてほしい。
	外からの人材の意見をくみ上げる必要があるのではないかと。
	浪板地区の復興パターンについては、基本的に賛成できる内容である。観光面や眺めの良さを重視する立場で考えると、最低限の防潮堤を整備し、高台移転を進める方向でよいだろう。

●まとめ

第1回大槌町地域復興協議会全体会では、津波防災についての意見は勿論のこと、産業・雇用、教育、復興計画の進め方など、多方面からの多くの意見を頂くことができました。ありがとうございます。

今後行う予定の各地域での復興協議会では、その地域ごとの復興のあり方について議論を行っていきたく思います。多数の参加をお待ちしています。

この「かわら版」は、地域復興協議会の結果を町民の皆さんにお知らせするために作成したものです。今後も各地域復興協議会の開催後に随時発行致します。

